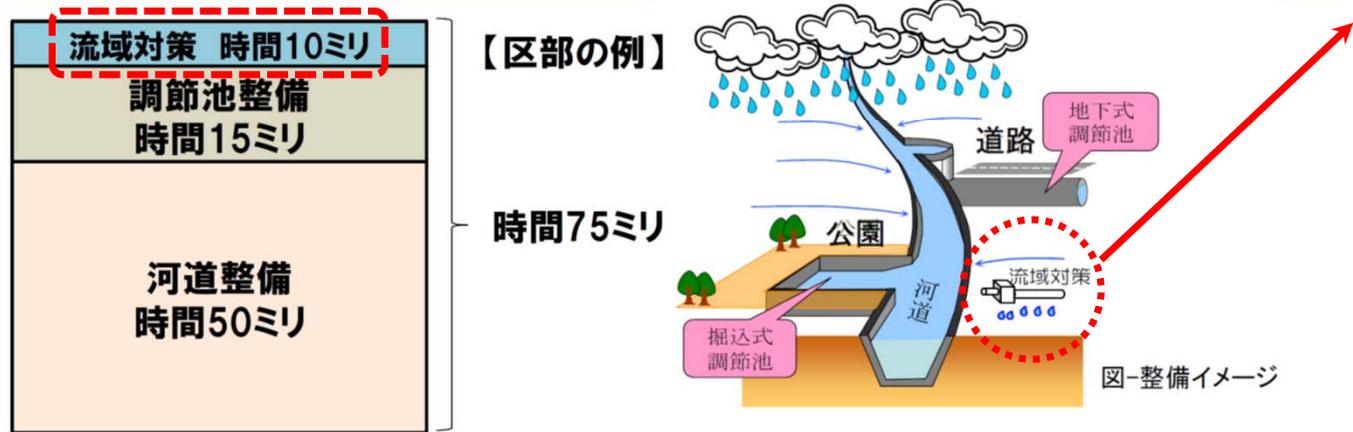


# ◇整備の考え方とこれまでの取り組み

## 整備の考え方

- ①時間50ミリの降雨までは、河道整備で対応
- ②時間50ミリを超える降雨については、新たな調節池と流域対策で対応



(出典：東京都市計画河川第8号善福寺川（善福寺川上流調節池（仮称）） 都市計画変更素案説明会資料より)

流域対策としての時間10mm分については、雨水を地面（地中）に貯留・浸透させる施設「雨水流出抑制施設」の整備を進めています

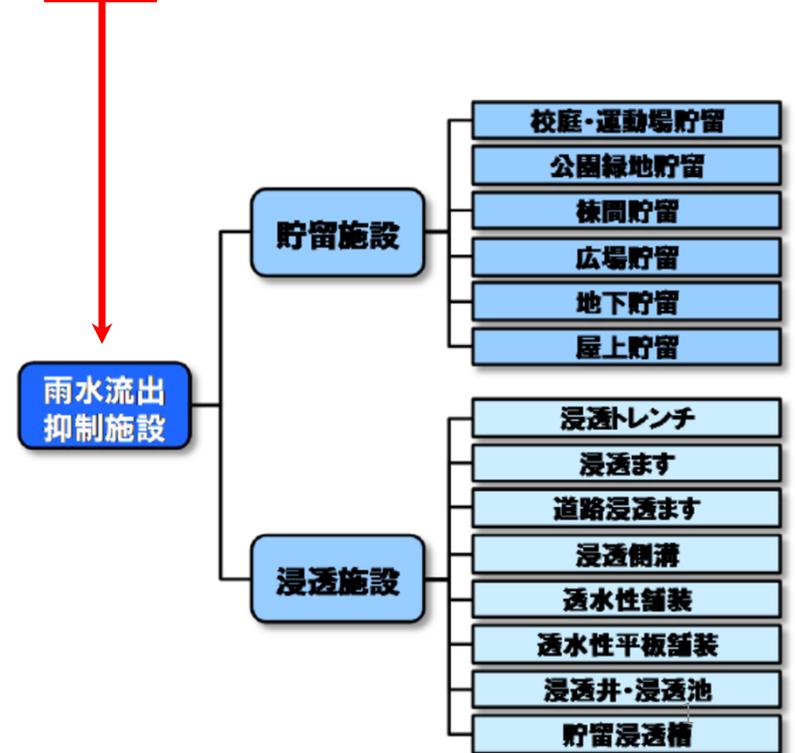
昭和58年から区内全域を対象として、区道（私道）や公園整備、学校などの公共施設の建設、民有地での建替えや大規模開発などの機会を捉え、整備を進めています。

## ◇都の主な役割

河川（下水道）調節池の整備

## ◇区の主な役割

流域対策として、雨水流出抑制施設の整備、設置促進



## ◇雨水流出抑制対策（例1）

### 道路に降った雨水を地面へ浸透させる取り組み

- 区道（私道）や公園などにおける透水性舗装化

歩道を透水性舗装で  
施工している写真  
【写真右上は非透水性舗装】



## ◇雨水流出抑制対策（例2）

敷地内に降った雨水の流出を抑制するため地面に貯留（浸透）させる  
取り組み

- ・公園や学校などの公共施設、大規模な民間施設等を建設する場合の地下を活用した貯留（浸透）施設の整備

井荻小学校の校庭の地下に  
雨水を貯留・浸透する施設を  
設置している状況写真

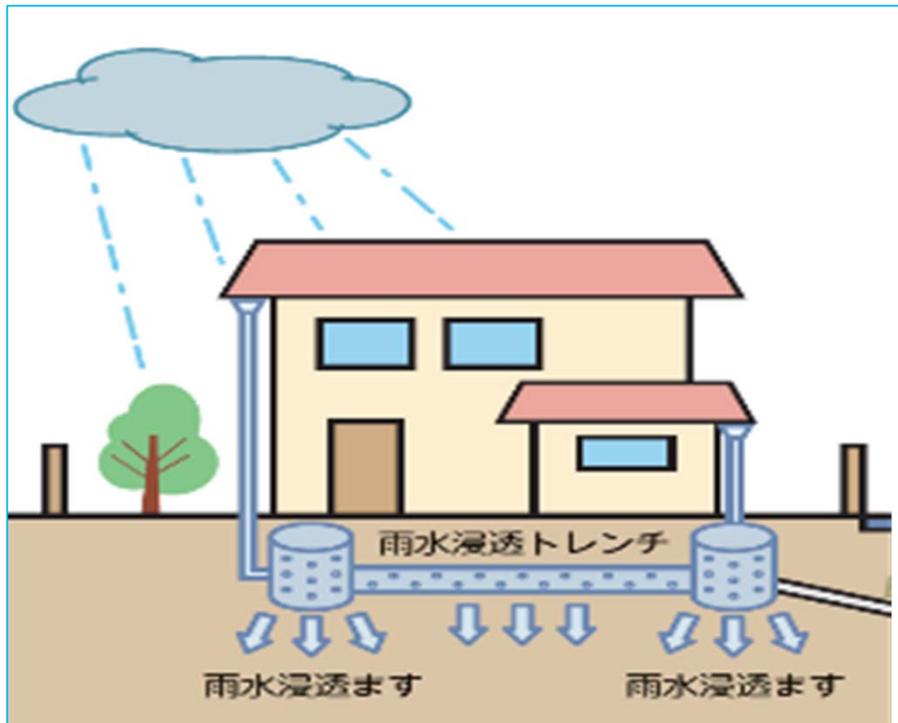


## ◇雨水流出抑制対策（例3）

### 民有地での雨水流出抑制施設の設置助成による推進

- 住宅の建て替えなどの際の雨水浸透ます、雨水浸透トレンチ管の設置助成

- 雨水貯留タンクの設置助成



浸透ます



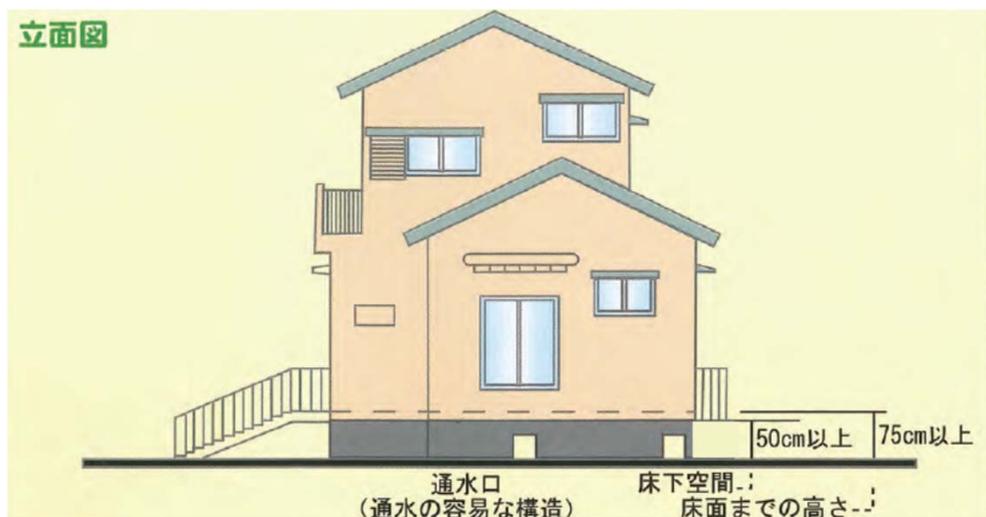
浸透トレンチ



## ◇その他行っていること

### ○家づくり

・高床化助成  
浸水などの被害が発生するおそれのある地域の方に、家屋の浸水被害の防止または軽減を図るため、住宅などを高床にする工事費用の一部を助成しています



### ○避難方策

- ・水害ハザードマップの周知、出前講座（動画配信）の開催
- ・気象情報（注意報・警報）、雨量情報などの提供（区HP）
- ・河川水位情報（ライブ配信）
- ・河川の警戒水位・危険水位情報等の周知
- ・防災メール、防災無線等による情報の周知・避難誘導



## ◇杉並区の令和6年度以降の取り組み

- ・流域対策の強化
  - 区道の透水性舗装化（年間3,000㎡→6,000㎡へ）
  - 私道の透水性舗装化（年間600㎡→1,000㎡へ）
  - 公園・学校など公共施設の雨水流出抑制対策（基準値の2割増→5割増へ）
  - 区内の多くを占める「私有地での設置促進」を図るための周知・普及啓発

### ・まちづくり

これまでの流域対策の強化に加え、自然の持つ力を活用したグリーンインフラ等の取組について、区民との対話の中で議論を行い、専門家の知見もいただきながら検討を進めていきます

雨庭（区内での施工例）

